

2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年6月3日

上場会社名 J-ピープル
 コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 2021年6月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年1月期第1四半期の業績(2021年1月21日～2021年4月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	754	—	33	—	30	—	21	—
2021年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	4.73	—
2021年1月期第1四半期	—	—

(注)当社は、2021年1月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2022年1月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため2021年1月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第1四半期	2,412	1,989	82.5	454.81
2021年1月期	2,674	2,244	83.9	513.06

(参考)自己資本 2022年1月期第1四半期 1,989百万円 2021年1月期 2,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	—	—	60.00	60.00
2022年1月期	—	—	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)2022年1月期の配当につきましては、通期業績見通しと連動して勘案する方針でおりますため、中間配当の実施は見送り、期末に一括して実施させて頂く予定でおります。期末配当額につきましては、年末商戦状況を見極めた上で期末配当予想を発表させていただきます。

3. 2022年1月期の業績予想(2021年1月21日～2022年1月20日)

2022年1月期第2四半期累計期間の業績予想(2021年1月21日～2021年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,894	—	50	—	48	—	33	—	7.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・当社の通期業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきですが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想のみ掲げさせていただきます。

・2021年1月期第2四半期累計期間においては連結財務諸表を作成し、財務諸表は作成していませんため、対前年同四半期増減率は、比較対象が異なるため記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年1月期1Q	4,437,500 株	2021年1月期	4,437,500 株
2022年1月期1Q	63,279 株	2021年1月期	63,279 株
2022年1月期1Q	4,374,221 株	2021年1月期1Q	4,374,221 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
四半期損益計算書	
【第1四半期累計期間】	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	6
カテゴリー別販売の状況	6
①第1四半期累計期間売上高	6
②新発売商品及び主なりニューアル商品	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の長期化により、依然として予断を許さない状況が続いております。当社をとりまく市場におきましても、年初の緊急事態宣言の再発出に伴い、一部店舗の臨時休業や営業時間の短縮等により、集客や消費への影響が続いております。

このような環境下、2年目となるコロナ禍において巣ごもり消費等の動向は予測し難い状況ながら、当社では欠品による機会損失を極力避けられるよう、製造委託工場との連携を密にし、常に十分な供給が可能な体制を整えて参りました。また、緊急事態宣言下においても予定通り新商品を発売し、消費者へ十分な訴求を効果的に行うため、WEBおよびSNSでの広告宣伝の利用に注力して参りました。

このような施策をもって当第1四半期を進行し、国内販売では、玩具・遊具・自転車いずれも既存定番品に加えて当四半期発売の新商品が好調な出だしとなり、前年同期簡に対しては売上を伸ばしました。しかしながら当社では、消費者トレンドそのものは昨年よりも厳しい状況になっていると見ております。

一方、海外販売では、消費者トレンドは上昇傾向にある様子で、主要の米国向け販売を中心に販売代理店からの注文も順調に入りました。しかし、世界的な外航コンテナの供給不足は依然として続いており、米国向け出荷日程の延期を余儀なくされ、当四半期売上高に大きく影響しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、7億54百万円となりました。

収益面においては、緊急事態宣言による新商品発売が延期となった昨年とは異なり、当四半期は予定通りのプロモーション投資ができたため、おおむね例年並みの費用発生となった結果、営業利益は33百万円、経常利益は30百万円、四半期純利益は21百万円となりました。

なお、2021年5月24日付けで公表しましたとおり、米国の子会社People Toy Company Inc.の清算に伴い、当第1四半期より非連結決算へ移行しました。それにより、前年同四半期については連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期間比は記載しておりません。

(カテゴリー別の概況)

・乳児・知育玩具

当カテゴリーは、前年同期間においては新型コロナウイルス感染症拡大に伴う店舗休業等の影響を大きく受けましたが、当第1四半期は一部店舗を除いては営業を継続しているお店も多く、流通からは、ほぼ例年通りのGW商戦向けのアイテムとして『やりたい放題ビッグ版リアル+』など定番商品を中心に期待がかけられました。

また、前期に引続き当期も好調な「ピタゴラスシリーズ」においては、1歳台のお子様が好き“ボール落とし”の知育性をプラスした新商品『知育いっぱいボールコースター』2種（スタンダード、DX）を4月に発売し、良い初動を見せています。

その他の新商品では、ステイホームで生まれた新アイデア『ベビ推しスイッチ』『1人でマツリます』や、お子様がおでかけ時の“手つなぎ”を嫌がる時期に着目した『握りたくなる魔法のわっか』を発売いたしました。

・女兒玩具

女兒玩具では、前年同期間において新シリーズの発売に伴うまとまった出荷があったことで、同期間での対比ではカテゴリー売上高は下回る実績となりましたが、当第1四半期後半に「ねじハビシリーズ」で新商品として、本物そっくりの電動ドライバーとデコレーション用ペイントローラーがセットとなって、ハウスDIYの工程がステップアップ式で楽しめる『メガDIYセット』を発売し、遊びの幅を広げています。

・遊具・乗り物

遊具・乗り物カテゴリーでは、当四半期において人気の『ケッターサイクル』などの自転車類でGW商戦に向けた大手量販店へのまとまった出荷がありました。前年同四半期のような急激な需要増による欠品等が生じることなく手配できたことで、順調に当四半期売上に結び付けました。新商品では、“足けりバイク”・“キックスケーター”・“自転車”とお子様の成長に合わせて3通りの利用が可能な新自転車『キックル』（2色）を発売しました。発売前からメディアで紹介されるなど話題を集めており、発売後すぐにも指名買いが見受けられています。

しかし、当カテゴリーにおいては、昨年の自粛特需のような状況は収束していく傾向が見えており、昨年に比べるとトレンドは急激に下降していく厳しい状況と見ています。

・その他（育児・家具）

前期発売しSNSで人気のベビーバス『ラッコハグ』は、当四半期においても引続き需要の高さを感じる注文が多く寄せられています。

・海外販売

海外販売では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界的な外航コンテナ不足で出荷スケジュールの変更を余儀なくされ、主に米国向け「Magna-Tiles」は4月度に予定していた出荷が次四半期の5月度へ後ろ倒しとなり、当四半期売上高に影響しました。海外向け輸出は遅れが生じつつも順次進行しておりますが、事態の改善は当面先であると予想し、状況を見ながら対策を講じてまいります。海外では消費トレンド自体は上昇傾向にありますので、欠品による機会損失が生じないよう販売代理店とも協力し、計画に沿った輸出を最優先として費用も投じる予定であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から2億62百万円減少の24億12百万円となりました。資産の部では、主に配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等で、流動資産が前事業年度末から2億46百万円減少し20億95百万円となりました。

負債では、流動負債で主に「その他」に含まれる前受金の増加の一方、未払法人税等の減少により、負債合計で前事業年度末から7百万円減少し、4億23百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益計上の一方、配当支払等により、前事業年度末より2億55百万円減少し19億89百万円となり、結果、自己資本比率は82.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(第2四半期累計期間 業績予測)

新型コロナウイルスの感染症の再拡大という状況ではあるものの、昨年の巣ごもり特需のような状況にはならず、消費者の心理は長引く状況に応じた買い控えのように動くを見て、当社の国内販売に厳しく影響すると予想しています。緊急事態宣言の延長により、開催中止を余儀なくされた展示会に替えて、WEBを利用した独自の流通向け新商品説明会の開催や、営業再開した店舗への新商品見本展示等の販売促進の積極的な実施、およびWEBやSNSなど自粛化下でも効果を発揮するプロモーション施策の研究を積極的に行う予定であります。また、コンテナ不足に伴う海外向け出荷タイミングの遅延は第2四半期にはほぼ解消され、第1四半期での海外販売売上の下降を取り戻していくと見ています。

それにより、現時点では、国内・海外総合での売上高については、第2四半期累計期間(2021年1月21日～2021年7月20日)で、18億94百万円を見通しておりますが、海外販売でのコンテナ動向によっては、第2四半期後半に予定している出荷日が四半期末日をまたぐ可能性もあり、見通しに一定の変更が生じた際はすみやかに開示いたします。

収益面につきましては、前期から実施しているテレワークを更に効率的かつリスクを最小限にして遂行するための社内ネットワーク環境等の見直しや、社員育成等にも費用を投じる予定であります。また、来期以降を見据えた新事業の着手から進行に伴い、研究開発費等の費用発生が第2四半期後半から発生する予定です。これらの先行投資等の費用発生に伴い、第2四半期累計期間の営業利益は、50百万円程となる見通しです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月20日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,097	1,139,238
受取手形及び売掛金	477,329	413,312
商品	401,460	442,187
原材料	1,298	110
その他	44,418	101,302
貸倒引当金	△1,693	△1,571
流動資産合計	2,340,910	2,094,577
固定資産		
有形固定資産	48,655	56,635
無形固定資産	37,304	36,198
投資その他の資産	246,964	224,629
固定資産合計	332,923	317,462
資産合計	2,673,833	2,412,039
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	144,310	99,367
未払法人税等	125,210	1,746
その他	160,073	321,466
流動負債合計	429,594	422,579
負債合計	429,594	422,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,783,105	1,541,358
自己株式	△34,267	△34,267
株主資本合計	2,150,343	1,908,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,896	80,865
評価・換算差額等合計	93,896	80,865
純資産合計	2,244,239	1,989,461
負債純資産合計	2,673,833	2,412,039

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月21日 至 2021年4月20日)
売上高	753,645
売上原価	430,204
売上総利益	323,441
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	34,304
販売促進費	32,979
運賃	41,079
役員報酬	17,454
給料及び手当	35,278
退職給付費用	3,954
支払手数料	26,864
研究開発費	48,562
その他	49,902
販売費及び一般管理費合計	290,376
営業利益	33,065
営業外収益	
受取利息	5
助成金収入	99
その他	15
営業外収益合計	119
営業外費用	
為替差損	3,072
その他	0
営業外費用合計	3,072
経常利益	30,112
税引前四半期純利益	30,112
法人税、住民税及び事業税	133
法人税等調整額	9,272
法人税等合計	9,406
四半期純利益	20,706

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

①第1四半期累計期間売上高の前年同期間対比（個別業績）

(単位 千円)

カテゴリー名	2021年1月期 第1四半期 (自2020年1月21日 至2020年4月20日)	2022年1月期 第1四半期 (自2021年1月21日 至2021年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	250,611	309,866	123.6
女兒玩具	75,482	62,233	82.4
遊具・乗り物	125,089	174,476	139.5
その他(育児・家具)	15,992	27,113	169.5
海外販売	335,017	179,958	53.7
合計	802,191	753,645	93.9

(注) 2022年1月期第1四半期より個別業績を表示しておりますため、前年同期間についても個別業績(参考値)を記載しております。

②新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「握りたくなる魔法のわっか」 (シロにゃん・クロにゃん)	各 ¥1,320
	ノンキャラ良品「ウレタンマットの噛み心地 1人でマツトります」	¥715
	ノンキャラ良品「本物そっくりのこだわり設計 ベビ推しスイッチ」	¥770
	ピタゴラスシリーズ「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいボールコースター」	¥3,278
	同 「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいボールコースターDX」	¥16,500
	お米シリーズ「お米のなめなめスプーン」	¥1,650
	同 「お米のはじめての食育おもちゃセットいろいろ」	¥4,290
	同 「お米のつみきはじめてセット白米色」	¥9,900
女兒玩具	ねじハピシリーズ「ねじハピメガDIYセット」	¥6,050
	お人形「マシュマロぽぽちゃん ひつじさんスタイつき」	¥3,608
遊具・乗り物	「キックル」2色 (フレンチブルー・メタリックレッド)	各オープン価格